

築館高等学校 一迫商業キャンパス

校訓 共助・研鑽・進取

キャンパス校訓 誠実 自律 奉仕



1 基本データ

創立：令和7年
課程・学科：全日制課程・情報ビジネス科
生徒数：29名（令和7年度入学生）
所在地：〒987-2308
栗原市一迫真城字町東133番地
TEL：0228-52-4112
FAX：0228-52-4111

ホームページアドレス：
<https://ichisho-ca.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
ichisho-ca@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
栗原市民バス 花山線一迫商業高校前

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

学びたいがそこにある！

一迫商業高等学校の伝統を引き継ぎ、地域との関わりを大切にしながら、生徒主体で取り組む“地域になくはない学校づくり”を目指しています。

生徒に身につけてほしい資質の柱は、「想像力」と「創造力」です。情報ビジネス科での学びを通して、「情報の力」で地域を創る人材を育み、学びたい！で溢れた学び舎を生徒とともにつくっていきます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

大正13年3月、一迫町立一迫実科高等女学校として開校し、その後一迫高等女学校、宮城県築館高等学校一迫分校となり、昭和48年4月に独立開校。平成6年度、商業教育の専門性を高めるために学科改編をおこない、流通経済科、会計科、情報処理科の3学科（男女共学、学科別募集、推薦入学制有り）となりましたが、少子化の影響で会計科の募集を停止し、平成23年度から流通経済科、情報処理科の2学科となりました。

令和7年度入学生からは築館高校一迫商業キャンパスとして生まれ変わります。情報ビジネス科として「情報の力で地域を創る人材」を育める教育課程を編成し、次世代を見据えた教育内容を展開します。一迫商業高校から地域との結びつきを継承し、地域社会の人々の期待を担いながら、産業経済の振興発展に寄与する有為な人材の育成を目指しています。

(2) 教育方針

「誠実・自律・奉仕」をキャンパス校訓とし、新しい時代における産業・経済社会を担う者として欠かすことのできない教養・知識・技術を十分に身に付け、強靱な身体と不屈の意志を育てることを目標にしています。

また、地域に愛され、地域に信頼され、地域になくはない学校を目指し、校訓「誠実・自律・奉仕」の精神を身に付け、地域社会を担うことのできる有為な人材を、商業教育を通して育成しています。

(3) 教育課程の特色

<情報ビジネス科>

情報を活用し、地域社会に貢献する人材の育成

本学科では、情報を活用し、地域社会に貢献するための知識や技術を総合的に学びます。地域の課題解決や魅力発信に向け、情報とビジネスの両面からアプローチし、実践的なスキルを身につけることを目指します。

「情報」では、まず情報処理やプログラミングなどの基礎知識を定着させ、論理的思考力を養います。その後、ソフトウェア活用などを通じて、デジタル技術を効果的に活用するスキルを磨きます。特に、データの分析・活用、プログラミングによる自動化、デジタルコンテンツの制作などに重点を置き、情報技術を実社会で活かす力を育成します。

「ビジネス」では、観光ビジネスという科目を通じて、地域の観光資源や経済の仕組みについて学びます。また、栗原版デュアルシステムや総合的な探究の時間を活用し、地域社会と密接に関わりながら、実践的な学びを深めていきます。こうした活動を通して、地域の課題を発見し、「情報」で身につけた知識・技術を活用して、その解決に取り組みます。さらに、地域の魅力を発信するためのPR活動やデジタルマーケティングの手法についても学びます。

本学科では、情報技術とビジネスの知識を融合させ、「地域の課題を解決できる人材」の育成を目指します。単なる技術習得にとどまらず、課題解決能力や主体性を養い、社会に貢献できる力を育むことを目的としています。学びのフィールドを地域に広げ、現場での実践を通じて、自ら考え、行動し、新たな価値を創造できる人材の育成に取り組めます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

運動部では、硬式野球部が第77回選抜高校野球大会に出場し、ベスト16になりました。平成29年度、令和元年度に陸上のやり投げ競技でインターハイに出場しました。また、弓道部はインターハイの出場実績があります。女子剣道部は平成25年度から地区総体3連覇を達成しました。

文化部では、ワープロ部が平成26年度から3年連続東北大会出場を果たし、個人では全国大会に出場しました。商業研究部は平成29年度に県で優勝、東北大会3位となり活発に活動しています。どちらの部も商業高校ならではの特色ある部活動であり、東北大会常連校（強豪）です。

生徒会活動も活発で、運動会、文化祭、球技大会等の諸行事の企画運営はもちろん、朝の挨拶運動、学校周辺のゴミ拾い、道路の花壇の整備、地域の配食サービスなど、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域に根ざした学校づくりを目指しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	2	2	1
短期大学	1	0	1
専各学校	10	15	16
就職(県内)	15	11	13
就職(県外)	3	2	3
その他	2	0	0
卒業生計	33	30	34

主な進路先（令和7年3月卒業生）、
()内は人数 (1)は省略。

<大学>

仙台青葉学院大学、東北学院大学

<短期大学>

聖和学園短期大学

<専修各種学校>

東京ITプログラミング&会計専門学校(2)、東北電子専門学校、仙台ビューティーアート専門学校、東北ヘアモード学院、仙台こども専門学校、一関医師会附属一関看護専門学校、仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、東京法律公務員専門学校

<就職(県内)>

HOYA ペンタックススライフケア事業部宮城事務所(2)、細倉金属鋳業株式会社、株式会社くりはら葬儀社、ジオマテック株式会社金成工場、協業組合アクアテック栗原、豊田合成東日本株式会社、栗駒高原森林組合、社会福祉法人迫川会、トヨタ自動車東日本株式会社、株式会社登米村田製作所、アルプスアルパイン株式会社、東北送配電サービス株式会社、社会福祉法人宮城福祉会、株式会社JR東日本テクノサービス

<就職(県外)>

第一貨物株式会社

株式会社U-NEXT HOLDING(2)

<その他>

自衛隊一般曹候補生

自衛官候補生



3 学校魅力発信

(1) 栗原版デュアルシステム

「栗原版デュアルシステム」は、地域産業との連携を通じて、実践的な職業体験を行い、社会に貢献できる職業人を育成する取り組みです。

3年生は「総合実践」の中の「企業実習」「販売実習」「起業家研究」を中心する取り組みを実施していきます。

「企業実習」では、年間35回程度の長期実習を実施し、業務内容に関わりながら職業スキルを身につけ、社会人としての基本的なマナーや責任感を学んでいきます。

「販売実習」では、地域イベントや本校主催の販売会に参加し、商品計画から仕入れ交渉、接客、会計に至る一連の業務を体験するとともに、地域企業と連携したECサイト運営を通じて、マーケティングや販売戦略を実践的に学び、地域振興にも貢献していきます。

「起業家研究」では、地域の課題に対してビジネスプランを考案し、地域団体と協力して解決策を実践していきます。

2年生は、インターンシップ受入事業所について調べ学習を行い、インターンシップを通して社会で求められるスキルやマナーを学ぶことで、自身の将来や社会への意識を向上させます。1年生は、先輩たちのインターンシップ発表会や社会人講話を通じて職業観を育み、2・3年生の成果発表を聴くことで、職業に対する理解を深めていきます。

これらの取り組みを通じて、生徒は地域社会とのつながりを深めながら、実践的な職業能力を養います。



＜販売実習＞



＜起業家研究＞



＜企業実習＞



＜学習報告会＞

(2) 主な学校行事

- 4月 始業式、入学式、対面式、PTA 総会
- 5月 春季生徒総会、オンライン学校
- 6月 第1回評価、全商ビジネス計算実務検定、全商簿記実務検定、全商ビジネス文書実務検定、芸術鑑賞会、スポーツフェスティバル①
- 7月 接客マナー講習会、三者面談
- 8月 オープンキャンパス、就職達成セミナー
- 9月 第2回評価、外部講師面接、インターンシップ(2年)、全商英語検定、全商情報処理検定
- 10月 文化祭、オープンキャンパス
- 11月 第3回評価、ロードレース大会、全商ビジネス計算実務検定、全商ビジネス文書実務検定、販売実習、スポーツフェスティバル②
- 12月 修学旅行(2年)、全商英語検定、全商ビジネスコミュニケーション検定
- 1月 全商情報処理検定、全商簿記実務検定、栗原版デュアルシステム学習報告会
- 2月 第4回評価、全商商業経済検定、同窓会入会式
- 3月 卒業式、修業式、離任式

(3) 学校制服紹介

ブレザータイプの制服です。スラックスを着用する場合はネクタイ、スカートを着用する場合はリボンを身に付けます。今年度よりウオッシュブルの生地に変更しました。※女子用スラックスもあります。



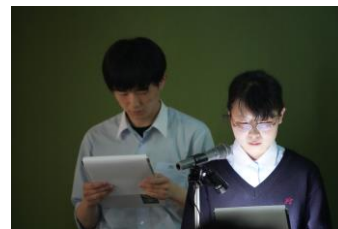
(4) 本校生徒の活動の様子



＜スポーツフェスティバル＞



＜ロードレース大会＞



＜商業研究部(発表の様子)＞



＜石楠花祭(文化祭)＞



＜ドローンを活用した授業＞



＜検定に向けた取り組み＞

4 在校生からのメッセージ

みなさんは、高校でどんなことを学びたいですか？本校の商業科では、社会に出たときに役立つスキルを幅広く学ぶことができます。簿記や情報処理、ビジネス基礎などを学びながら、検定資格の取得を目指します。放課後には検定対策の補習があり、先生方が親身にサポートしてくれるので安心です。

本校では、パソコンを使った授業が充実しており、プログラミングやデータ分析などの情報スキルを学ぶとともに、さらに、ドローンを使ったDX授業では、実際にドローンを飛ばしながら、プログラミングを学んだり、撮影した映像を編集したりする体験ができます。最先端の技術に触れながら、実践的な力を身につけられるのが魅力です。

勉強だけでなく、学校行事も楽しみのひとつです。体育祭ではクラス一丸となって競技に挑み、応援も大盛り上がり。文化祭では、模擬店やステージ発表があり、自分たちで企画・運営する楽しさを味わうことができます。クラスや部活動の仲間と協力しながら作り上げるので、達成感もひとしおです。

先生方はとても親しみやすく、わからないことがあればいつでも相談にのってくれます。進路のことや学習のことなど、一人ひとりをしっかりサポートしてくれるので安心して学ぶことができます。

商業の学びを通して、社会で役立つ知識やスキルと一緒に身につけていきましょう。みなさんと一緒に学べる日を楽しみにしています！

生徒会長 松田 琉河さん(栗原西中出身)